

第10回「市民と市長のふれあいトーク」の内容（要旨）

と き 5月8日（木）
テーマ 子どもの支援と地域の児童虐待予防
参加者 児童養護施設・わかば園 松田浩一郎さん、津山二葉園 吉村 惣子さん、
立正青葉学園 岸本 延子さん、青木 幹生さん
津山飛昇会 藤本 優さん、森本 英資さん

市内の児童養護施設の園長・職員と児童養護施設の子どもの支援する津山飛昇会の皆さんが、子どもの支援と地域の虐待予防について、市長と意見交換を行いました。



児童養護施設から

児童養護施設には、保護者のいない児童や育児放棄された児童などが入所してきます。発達障害の子どももいて、配慮が必要な子どもたちが増える中、少ない職員で対応しています。

子どもたちが卒園する際には、就職して自立できるよう、当面の生活費や生活支度の支援が必要です。大学や専門学校に進学したい気持ちを持つ子どももいますが、学費のことで断念する子どももいます。津山飛昇会からの援助は、本当に心強く感じています。

地域には、表面化していない虐待に苦しんでいる子どもがまだいるといわれています。そこで、24時間体制で虐待などへの細やかな対応ができる施設「児童家庭支援センター」を津山に設置できればと思っています。いつでも身近に子育ての相談ができて、虐待も連絡できる機関があれば、より子育てしやすい津山になると思います。

津山飛昇会から

児童養護施設の子どもたちを支援するため、募金活動を行い、イベントを開催しています。これらの活動に、ぜひ、市民の皆さんにも広くご理解、ご協力をいただきたいと思います。

さらに、施設を卒園した子どもたちが社会になじめるよう支援する「自立援助ホーム」を、津山に設置できればと思っています。

施設の立ち上げに向けて、児童養護施設の皆さんや関係機関と一緒に勉強会を開催しようと思っています。ぜひ、市にも勉強会に参加してほしいです。

市長から

児童養護施設への支援や虐待への対応など、子どもたちの現状を聞き、大変参考になりました。市は市民にとって、一番身近な行政機関でなくてはなりません。子育てがしやすいまちを目指して、市民と市と一緒に力を合わせる体制が必要だと思っています。市でできることを検討し、施設の設置など、県に積極的に提案していきたいです。また、勉強会にも積極的に参加していきたいです。